

社協だより

はんど

to

はんど

冬号



地域で開催する“ふれあい・いきいきサロン”を応援しています。
相談もお受けしていますので、あなたの地域にもぜひサロンを!!

今号の話題

- ②~③ 特集 孤立防止フォーラムより
「誰もが孤立する地域社会」
- ④ あんしんサポートネット
- ⑤ ふれあいサービス
- ⑥ 敬老会・報恩会報告、福祉であいの広場2014報告
- ⑦ おとなの知恵袋講座、福祉センター貸館のご案内
- ⑧ 福祉活動表彰
- ⑨ 心配ごと相談所日程、寄付報告
- ⑩~⑪ クリップボード
- ⑫ ふれあい・いきいきサロン

No.128

平成27年1月1日
発行

社会福祉法人 坂戸市社会福祉協議会

☎ 049-283-1597

FAX 049-289-3911

HP <http://sakadoshakyou.jp>

※電話・FAX 番号を確認のうえおかけ
間違いのないようご注意ください。



平成26年8月27日(水)に文化施設オルモにおいて、「孤立防止フォーラム」が開催されました。
当日は基調講演の他、先駆的な取組を実践している地域の発表がされました。
今号は、その基調講演の一部を抜粋・要約した内容を掲載いたします。

～今、坂戸から考える「近助」の力～

誰もが孤立する地域社会

基調講演(抜粋)

構造的に生み出される社会的孤立

年間32万人の人が、近所の目も公的な目も届かず、孤立して亡くなっていくことを取り上げた「社会」というNHKドキュメンタリー番組が、2010年に大変話題になりました。
『都市化』地方から上京してきた、単身で真面目に働き、地縁のつながりもない。親類の関わりもない。最後は、お骨の受け取り手がないという方。

『生涯未婚』看護師をされていて、一所懸命人のために尽くしてきたのですが、気づいたら自分が孤立していたという方。

『会社中心の生活』大企業に勤めている方で、家庭も健康も省みず遮二無二働いて、結局最後は体を壊し、家庭では離婚し、働けなくなり孤立。一人で暮らしたくないので老人ホームに入所するのですが、「これでもマシな方だ」と言っていて暮らしている方。

映像には様々なケースが取り上げられていましたが、他には『雇用の崩壊』『家族の介護』がトリガーになり、社会的な孤立

に陥っていくというドキュメンタリーでした。この番組は、『孤立』は個人のみの問題ではなく、社会の構造で生み出され、誰でも孤立しうるのだと問いかけたのです。
では、社会の構造を変えていけば孤立は多少防げるのでしょうか。

坂戸の地域で考える『孤立』とは

「少子化」若年層の都市流出

働き場が都市部に集中していることで必然的に「少子化」が進み坂戸市内では小・中学校が統廃合されています。坂戸市のパターンとしては、正に西坂戸の現状そのもの。核家族で暮らし、その子どもが働く年齢になり家を出て行ってしまい、高齢夫婦・単身世帯になっていくのです。今、新興住宅地として入西地域がありますが、ここもやがて同じ構想をたどっていきます。

「超高齢・人口減社会」の到来

田舎の人口は減り、都市部の人口はあまり減らないものの超えていくという状況は、望んで選択した方もいられるかもしれませんが、程良く日常がつかないというリスクな暮らし方だと言えます。

これは、西坂戸地域にも言えますが、一気に入居されてきた方々は、同時に高齢化していくのですから、それを見越して体制を作っていくかなくてはならないのです。

一緒に高齢化していくことで、地域の活力や購買力が低くなっていき、放っておくとだんだん住みづらい地域になり、通院困難や買い物難民など日常生活の維持が困難になっていくのは、このような構造が深く絡んでいるといえるのです。

これにいち早く気付いた方々が坂戸で言うならば『西坂戸支え合いのまちづくり協議会』であり、「助け愛隊」の取り組みであると言えるのかと思います。
ここでの取り組みは、人間関係もそうですが、物を買う環境などを身近な生活圏に確保し、いかに身近な生活圏を充実させ、豊かにするかという問題への取り組みが始まっているのです。

私たちは「まだ大丈夫」と思える時期に自分と社会(地域)をつなぐ糸を編んでおくことが重要です。

講師・ファシリテーター 立教大学 助教 岡田 哲郎氏



- 〈主な活動〉
- ・ふじみ野市地域福祉計画審議会委員
 - ・日本社会福祉学会関東部会運営委員会委員
 - ・平成24年度笹川科学研究奨励賞受賞『「ハレ」と「ケ」の福祉論—岡村重夫『民俗としての福祉』概念の可能性』
 - ・新座市北部第二地区地域福祉推進協議会(地域住民として活動)



実践報告 1 「助け愛隊」について
自治会のメインスローガン「明るく安心 安全なまちづくり」を念頭に、一部の住民だけでなく“オール西坂戸”で協議会を立ち上げました。現在、低額有償で地域を支え合う“助け愛隊”が活躍中！



実践報告 2 子育てサロン「おばあちゃん家」について
民生委員のOB,OGからもお手伝いをしてもらいながら、子育て中のお母さんたちに寄り添ってこれからも活動していきます。



実践報告 3 「ニュータウンふくしプラザ」について
誰もが地域の中で独りではないと感じる居場所づくりと、地域で暮らす安心感を大切に活動しています。

75歳以上人口割合の推移

	2010年	2025年	2040年
埼玉県	8.2	16.8	19.0
坂戸市	7.4	18.1	18.8

(国立人口問題研究所 HPより)

高齢化で、都市と地方のアンバランスが根幹的な問題といえます。
下記の数値は後期高齢者の人口割合がどれだけ増えていくかを示しています。一気に介護のニーズが上がる75歳以上の絶対数が増えるスピードが問題になる訳ですが、埼玉県はダントツで2倍以上です。
この2010年から2025年のたった15年で、この人口が坂戸市はもっと激しい約3倍です。
単純に考えて、今のサービスの水準を維持するためには、今の3倍の体制が必要になってくるのです。今でさえ社会保障制度は行き詰っているのですからこれは無理な話です。
団地という特殊性
東坂戸や北坂戸の団地を見ますと、互いの生活が見えづらい構造です。個のスペースにはま

さかど ふれあいサービス 協力会員を募集

地域で暮らす住民が少し困っている時に、同じ住民が少し手を貸す。

一昔前には当たり前のように日々行われていた『お互い様』を低額有料のサービスとして行っています。

協力会員って？

誰でもなれるの？

サービスに理解があり、家事援助やその他の手助けができる方ならどなたでも登録できます。
(資格はいりません)

どんな活動をするの？

「食事作り」や「買い物」、「掃除」など普段ご家庭で行っている内容が主な活動です。

低額有償とは？

「1時間：700円」
協力していただいた時間に応じて上記の活動費をお支払いしています。

活動する日は？

予め決めた曜日と時間帯に定期的に訪問、活動を行います。
(基本的に突発的な活動はありません)

初めてで不安なのですが…

コーディネーターがサポートします。年に数回は他の協力員と情報交換会や研修会がありますのでご安心ください。

ふれあいサービスのしくみ



「私は、今はまだ大丈夫」と思える時期に、助け手として協力会員に登録し、地域をつなぐ糸を編んでみませんか。

「近助の力」を貸してください

市民皆さんの協力があって成立する事業です。協力会員にご協力頂ける限り、利用を希望する方のご要望にできるだけ応じられるようコーディネーターいたします。誰もがいずれば年をとり、健康な方も、病气やケガをするかもしれません。誰もが助けたり、助けられたりと、どちらの立場にも立つということが考えられるのです。

さかどふれあいサービスとは

日常生活で困ったとき、市民の参加と協力により家事援助を中心としたサービスを提供します。サービスの提供は、ボランティア精神を基本に有料(1時間700円)のチケット制で行われます。

住民参加型在宅福祉サービスとは

「自分たちの住むまちを 自分たちの手で 住み続けられるようにしたい」という住民の思いを形にした住民自身による地域福祉活動です。

生活を支える仕組み

私たちの生活を支える大きな仕組みは、①地域社会は皆で一緒に育んでいこう！とめぐるせていく【共同の仕組み】。②利益や効率でめぐるしていく【市場の仕組み】。③公平、平等の原理で大きくめぐるしていく【公の仕組み】と3つあります。

かつては、地域には近所の子どもや遊ぶスペースが多くあり、自分の親がそこにいなくても誰か大人の目がありました。普段から近所に子どもを預けたり、子どもの体調について相談ができる関係があり、面で支えられていた仕組み「セーフティーネット」があったのです。

この仕組みがなくなった今は、お金を稼ぎ何かを買って済ませたり、行政のサービスに頼るといふ少し危ういセーフティーネットです。これが倒れたらどうなるのでしょうか。

人が幸せに暮らせるならばどの仕組みでもいいのですが、今

問題になっているのは「市場」という仕組みが格差的になってきて放っておくと人や自然が大きな所に集まり、地域が廃れ人も所得も徐々に減っていつてしまつ状況です。また、「福祉」の現場でも儲けや利益を優先して活動していくあまりに、人のつながりを壊したり、自然を壊したり、結果的に莫大な行政コストを発生させていきかねません。そして、福祉にかけるお金も少なくせざるを得ないという状況になってくるという訳です。

当然「市場の仕組み」「公の仕組み」を充実させていくのも重要ですが、我々が今考えたいのは、お金では換算されない価値を生み出している【共同の仕組み】です。これは、私たちが失ってきたセーフティーネットの意味を思い出していくという事なのです。

そして、私たちは「まだ、大丈夫」と思える今、それぞれが自分と地域をつなぐ糸を編むように、地域で動き出すことが重要なのです。

福祉サービス利用援助事業

あんしんサポートねっと

物忘れなどがあり判断能力が不十分な高齢者や知的障害・精神障害のある方が、安心して地域で生活が出来るように、定期的に訪問し、福祉サービス利用の援助や暮らしに必要なお金の出し入れのお手伝いをします。
(相談は無料ですが、利用料はかかります)



このような困りごとはありませんか？



利用には条件があります。まずはお電話ください
☎283-1597

- 大切な郵便物が届いたが、対処の方法が分からない
- 税金や家賃、電気代の支払いを忘れてしまう
- 通帳や年金証書のしまった場所を忘れてしまう

社協職員(専門員)がご本人の意思を尊重し、一緒にお手伝いの方法を考えます

- 郵便物を整理して内容をご説明します
- 税金、公共料金等の支払いや、預貯金の払出し、預け入れのお手伝いをします
- 大切な書類をお預かりします

おとなの知恵袋講座

椅子ヨガ

椅子に座りながら、
楽しく行えるヨガを体験してみませんか！
カラダをほぐすことをメインとするため、
足腰に不安のある方も安心して参加していただけます。
家庭で椅子に座ったまま、簡単にできるポーズがほとんどですので、
ぜひ、生活の中に取り入れてみてください！

- 日時** 2月12日(木) 午後1時30分～
- 場所** 坂戸市福祉センター 会議室
- 講師** Yoga Studio H&B 所属インストラクター
- 対象** ・60歳以上、又は車いす利用者
・市内在住、在勤者
- 定員** 20名(先着順)
- 参加費** 500円
- 持ち物** 動きやすい服装・バスタオル
・フェイスタオル
- 申込み** 1月7日(水)～
坂戸市社会福祉協議会 電話 049(283)1597 へ

体にいい空気を
取り込みましょう



長 寿 の お 祝 い

9月15日(月)に市内在住の70歳(古希)の方と75歳以上の方に加え、昨年度は台風の影響により中止となったため、前回の古稀対象者である71歳の方13,338名をご招待し「敬老会・第45回報恩会」が開催されました。
第1部の式典に続き、第2部のアトラクションでは、大衆演劇『新星劇団一座』、漫談『東京助』の他に午前の部では坂戸夏祭りばやし「丁目」一心会、午後の部においては塚越ばやし「塚越囃子連」で盛り上がりました。



坂戸市福祉センター ご利用案内

住所 坂戸市石井2327-6 電話 049-283-4114

坂戸市福祉センターでは、会議室、活動室の貸し出しをしています。
打合せや会議、静かな趣味活動等にご活用ください。
※内容によっては利用できない場合があります。

利用料金等

室名	利用料		
	9時～12時	13時～17時	17時30分～21時30分
活動室1 (定員30名)	600円	800円	900円
活動室2 (定員12名)	400円	500円	600円
会議室 (定員51名)	1,300円	1,700円	1,800円

利用方法

利用希望日の3か月前から申し込みできます。
「利用許可申請書」に利用料を添えて事務室に申請してください。

※お問い合わせは、
坂戸市福祉センターへ。

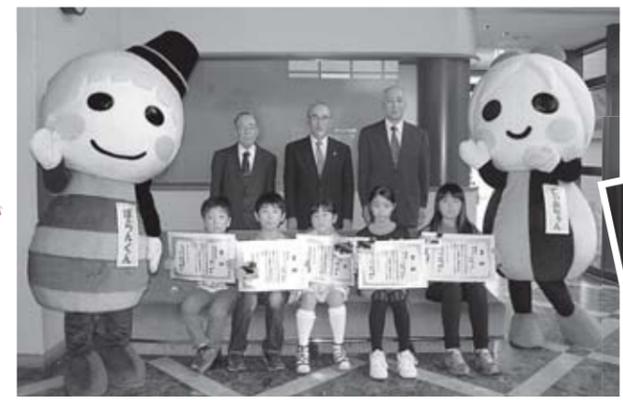


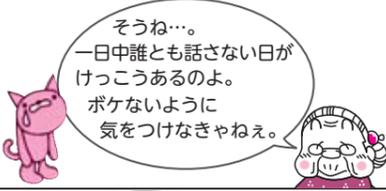
11月2日(日) 福祉であいの広場2014 終わる

～支え合う 福祉のチカラ 坂戸から～

今年のステージは、「夏休み福祉ポスターコンクール」の表彰式の他、ワハハ本舗の『キャラメルマシーン』に出演いただき、会場全体が驚きと笑いで盛り上がりました。また、お楽しみ抽選会ではディズニーリゾートペアチケットや市内授産施設に通所されている方が作った品などたくさんの景品が贈られ、多くの方に笑顔があふれていました。当日はたくさんの人との出会いと、福祉体験ができる一日となりました。

キャラメルマシーンの、マジックとポケに会場は大盛り上がり！





出張心配ごと相談所



少し心配なことがあるけれど…誰に相談してよいかわからない方、誰かに話しを聞いてもらいたい方など、お気軽にご相談ください。相談まで少しお待ちいただくこともありますが、予約せず無料で相談できます。

開設場所	開設時間	開設月			
		1月	2月	3月	4月
東坂戸公団(公団)集会所	午前9時30分~12時30分	6日(火)	3日(火)	3日(火)	7日(火)
坂戸市福祉センター	午前9時~12時	14日(水)	12日(木)	11日(水)	8日(水)
北坂戸出張所	午前9時~12時	15日(木)	19日(木)	19日(木)	16日(木)
入西地域交流センター	午前9時~12時	23日(金)	27日(金)	27日(金)	24日(金)
大家公民館	午前9時~12時	13日(火)	9日(月)	9日(月)	13日(月)
西坂戸自治会館	午前9時~12時	21日(水)	18日(水)	18日(水)	15日(水)

皆さんからの善意

合計 928,796円

平成 26 年 9 月 10 日から 11 月 30 日まで (順不同・敬称略)

【現金の部】

- 日本キリスト改革派坂戸教会 5,000円
- 株式会社いるま野サービス 52,628円
- 第28回勝呂地区チャリティゴルフ大会実行委員会 84,000円
- 城山神輿連合 1,000円
- 城山公民館 20,575円
(たんぼぼグループ、第36回城山公民館文化祭模擬店)
- 浅羽野公民館 31,945円
(バザー、第4金曜料理クラブ、中国健康体操クラブ、リズム健康体操)
- 若葉女声コーラス 3,000円
- 遊朋倶楽部 1,820円
- 坂戸市くらしの会 2,450円
- 七宝第二クラブ 5,000円
- 入西地域交流センター 2,120円
- 坂戸市菊花会 6,000円
- 坂戸双葉山草会 4,800円
- 坂戸ガス株式会社 200,000円
- 坂戸国民学校卒業生一八会同窓生 124,292円

- 坂戸市商工会青年部入西支部 3,000円
- 連合埼玉川越・西入間地域協議会 20,000円
- マロニエの会 3,917円
- 大家公民館 16,500円
(ソフトボール協会大家支部、クィーンフラワーズ、陶楽会、焼かない陶芸ポエム、マザーチルクラブ、藤工芸クラブ、フラワーダンスサークル、ガールスカウト埼玉県第70団)
- 健康体操メロディー 5,000円
- 匿名 (6件) 335,749円

【物品の部】

- 横田之一 男性用衣類 6 枚、下着 45 枚
- 山口理恵 胡麻麦茶 23 本



紙芝居文化推進協議会

第15回手づくり紙芝居コンクール 大賞 受賞!



猪瀬 秀夫さん

おめでとう
ございます
あじさいの会 会員
井出 裕子さん(小沼在住)



応募総数 332点の中、一般の部の頂点『加汰こうじ賞』に輝かれました。作品のタイトルは“大空襲の5日後に”。この作品は、秀夫少年が大空襲の5日後に、見て、感じてそして、胸に深く刻まれたできごとや想いが語られます。実は主人公の“秀夫少年”は、市内ボランティアグループへ所属していた猪瀬秀夫さんです。この紙芝居は、70年前に猪瀬さんが実際に体験し語ったことを別のボランティアさんが文字に書き留め、そして、井出さんが紙芝居へと作り上げたのです。市内で活躍するボランティアさんの連携で、できあがった紙芝居。作品もさることながら、出来上がるまでの過程もステキな作品です。3月のボランティアサロンに上演会があります。是非、ご覧ください。



あじさいの会の活動の様子(末広幼稚園にて)



広告

住宅改修は、自己負担 1 割で出来ます
介護保険を利用して手すりを付けませんか?

階段・廊下・トイレ・浴室の手すり等、丁寧にお応えします
見積り無料 お気軽にお問い合わせください!!



(有)グローバルハウス 〒350-0243 埼玉県坂戸市萱方219

☎ 049-285-6388 ☎ 049-271-0625

二級建築士・インテリアコーディネーター/福祉住環境コーディネーター 2級

家族葬

家族の絆を大切にする 費用を抑えた新しい形。

埼玉県社会福祉協議会 葬祭事業指定受託葬儀社 家族葬のさいれい

お葬式に関する 資料請求で お電話で 24時間365日受付
資料をお送りします! 5,000円割引
☎ 0120-689-111

クリップボード CLIP BOARD

ボランティアに関する相談は・・・
さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597
FAX 289-3911

ボランティア募集

1 やまぶきの郷

洗髪後のドライヤーかけ・レクリエーションの手伝い・話し相手・囲碁や将棋の相手・料理クラブの手伝い等のボランティアを募集します。

日 時 内容によって異なる
9:00～17:00の間で調整
場 所 やまぶきの郷 (多和田 330)
対 象 小学生から一般
申 込 先 弓削田・関口 ☎287-1155

学 ぶ

2 視覚障害者支援ボランティア体験講座

視覚障害者への理解を深め、視覚障害者へのサポート方法等を体験する講座です。(全3回)

日時・会場	内 容	講 師
1月27日(火) 13:30～15:30 ワークプラザ	視覚障害について 視覚障害者の歩行手段について 盲導犬について	日本盲導犬協会 神奈川訓練センター
1月28日(水) 13:30～15:30 坂戸市福祉センター	視覚障害者のための録音図書 「デイジー図書」ってなに?	デイジー坂戸
1月29日(木) 13:30～15:30 坂戸市福祉センター	パソコンで広がる世界	坂戸パソコンボランティア

定 員 20名 (応募者多数の場合は抽選)
参 加 費 500円 (資料・保険代等)
申 込 切 1月20日(火)
申 込 先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

3 読み聞かせボランティア指導者養成講座 (子どもゆめ基金助成活動)

読み聞かせ活動をレベルアップ。今回は基礎力養成編です。3月1日には実力養成編を開講します。(申込み別途)

日 時 2月1日(日) 10:00～17:00
場 所 入西地域交流センター(新堀159-1)
講 師 榊 寿之 氏(元NHKアナウンサー)他
定員・対象 10名・一般(先着順)
参 加 費 2,000円(テキスト代)
申 込 先 おはなしデパート
犬山 ☎080-2061-8635

4 認知症予防のためのアロマセラピー

認知症になぜアロマセラピーが有用なのかを学習し、予防や進行を少しでも遅らせるために、日常にアロマセラピーを取り入れていく方法を学びましょう。

日 時 2月21日(土) 13:15～16:15
場 所 坂戸市福祉センター(石井2327-6)
定 員 20名(先着順)
参 加 費 2,000円(作成したアロマグッズは持ち帰り)
申 込 切 2月10日(火)
申 込 先 アロマケアチーム プチマイン
阿部 ☎090-8454-9196

イベント

5 介護保険相談会

日頃、ご家族が介護で悩んでいることはありませんか? 介護保険を自分にあった方法で活用したいのに、その方法がわからないことはありませんか?

日 時 2月21日(土) 14:00～17:00
場 所 坂戸市駅前集会施設
(日の出町16-11-201)
定 員 50名
参 加 費 無料
問 合 先 NPO法人ケアピーぷる
伊藤 ☎281-9901

交流・集う

6 ボランティアサロン

毎月、第4木曜日はボランティアの日とし、ボランティア活動に関する相談を行っています。

場 所 ボランティアビューロー(コミュニティセンター内)
時 間 10:00～15:00
問 合 先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

月 日	午前(10:00～12:00)の内容
1月22日(木)	体験してみよう「弱視の見え方」 ～見えにくいってどんなことだろう?～
2月26日(木)	あなたの心は何色? ～目には見えづらい障害について 一緒に考えてみませんか?～
3月26日(木)	紙芝居・隠れた名作を楽しみましょう♪

7 使用済み切手整理ボランティア

皆さんから届けられた使用済み切手を整理するボランティアを募集しています。楽しくおしゃべりをしながら活動しませんか?

日 時 1月22日(木)・2月26日(木)
3月26日(木) 13:00～15:00
場 所 ボランティアビューロー(コミュニティセンター内)
問 合 先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

8 出張ボランティアサロン

市内の2か所で出張ボランティアサロンを開催しています。楽しくおしゃべりしながら、情報交換や仲間作りをしませんか? (出入り自由)

問 合 先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

◆出張ボランティアサロン『こすもす』

日 時 1月14日(水)・3月11日(水)
<2月はお休みです>10:00～11:30
場 所 NPO法人こすもす 喫茶店(東坂戸2-9-105)

◆出張ボランティアサロン『北坂戸』

日 時 1月21日(水)・2月18日(水)・
3月18日(水) 10:00～11:30
場 所 北坂戸出張所 市民交流フロア(溝端町1-5)

9 “ダンディー'S ～男の料理教室～” 参加者募集

女子栄養大学ECOS(エコス)では、50歳以上の男性を対象に「日本全国の郷土料理」をテーマに料理教室を開催します。

日 時 2月22日(日)・3月15日(日)10:00～13:00

10 “スマイルレディー'S キッチン” 参加者募集

女子栄養大学ECOS(エコス)では、50歳以上の女性を対象に「日本全国の郷土料理」をテーマに料理教室を開催します。

日 時 2月15日(日)・3月8日(日) 10:00～13:00

9 10 共通

場 所 女子栄養大学 香友会館(千代田3-18-21)
定 員 10名(2回参加できる方)
<応募者多数の場合は抽選>

参 加 費 1,000円(500円×2回)
持 ち 物 エプロン、三角巾、上履き
申 込 方 法 住所・氏名・電話番号を明記の上、下記まで
往復ハガキで申し込み(応募切1月17日)
〒350-0288 坂戸市千代田3-9-21
女子栄養大学 学生担当「ECOS」宛て
問 合 先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597

11 介護者リフレッシュ1泊旅行

在宅介護を長期にわたり行っている介護者の方に、1泊旅行でリフレッシュしていただくために開催します。

日 時 6月3日(水)～4日(木)
宿 泊 先 静岡県堂ヶ島温泉「ニュー銀水」
定 員 13名(先着順)
参 加 費 無料
申 込 切 3月31日(火)
問 合 先 公益財団法人さいしん福祉財団
石川 ☎048-527-6065

私の地域の

ふれあい・いきいきサロン

このコーナーでは、市内で取り組んでいる
サロン活動をご紹介します。

——市内にたくさんさんのサロンの花が

咲くことを目指して——



紺屋いきいき健康サロン
(坂戸市紺屋)

北風が吹きはじめ冬が顔をのぞかせるような日に、紺屋健康いきいきサロンを訪問させていただきました。サロン開始時間が近づくと参加者が集まり始め、「目の調子はどう?」「年金がね〜」など体調を気遣ったり、身近なできごとのおしゃべりからスタートです。その後、健康センターの職員を講師に健康体操に取り組みました。リズムに合わせて体を動かしながら、時折談笑もありとても和やかな雰囲気でした。

休憩中には、「体を動かせてうれしいわ」「引越してきた時は心細かったけど、誘ってもらって毎回楽しみにしている」など、サロンを楽しみにしているお声をたくさん聞くことができました。

休憩をはさんだ後は、チームに分かれてキャップバッグを使ったゲームです。皆さんでコツを教え合った

り、声を掛け合って協力するなどチームで団結して一所懸命取り組んでいました。

健康作りを通して、参加者の交流が広がり、笑顔になる元気なサロンでした。

聞かせて!

うちのサロン自慢

健康サロンは、会員が35名いるのですが毎回20名以上の方が参加する参加率の良いサロンです。少しでも参加者が楽しんでもらえるように、市の出前講座や町内会の協力を得るなど様々なプログラムを用意しています。例えば、紺屋にお住まいの方に講師をいただいたり、女子栄養大学に遠足に行ったりしました。これからもみんなで楽しいプログラムにしていきたいです。

「紺屋いきいき健康サロン」のこれから

新しく引越して来た方にも参加してもらいやすいように工夫していきたいと考えています。サロンでのつながりを地区全体に広げていくのが目標です。そしてサロンを通じて紺屋地区住民が気軽に声を掛け合い、なんでも話せる地域になればいいですね。



◇市内65歳以上の高齢者 25,813人 男 12,056人 女 13,757人 高齢化率 25.5% (12月1日現在)



再生紙と環境にやさしい植物インキを使用しています。